

南部ブロック活動報告：街中史跡巡りと懇親会

R4 年度生 高根澤京子

2025 年 5 月 14 日 五月晴れのもと、南部ブロック主催の「第二回 街中史跡巡り」が開催されました。JR 船橋駅南口の銅板レリーフ「船橋町鳥瞰図」前に 15 名の会員が参加し、うち 5 名は今年度入会された方々でした。

講師を務めてくださったのは、南部ブロック会員で歴史愛好家の河野成夫さんです。普段何気なく見ていた駅前の「鳥瞰図」が、船橋の歴史を語る貴重な資料であることを、講師の丁寧な解説を通じて知り、参加者一同、思わず感嘆の声を漏らしていました。

文豪・太宰治がかつてこの地に居を構えた場所を訪れ、彼がなぜ船橋を選んだのかといった興味深いエピソードも紹介され、講師の豊富な知識と軽妙なお話ぶりに、皆心から感動し、船橋の町に対する見方が変わったように思います。

海老川の橋に施されたレリーフやオブジェを通じて、船橋の多様な文化や歴史を感じることができました。海老川橋の五大力船や九重橋にある太宰治の肖像と「走れメロス」の一節を刻んだレリーフなど各橋が持つ独自の物語に触れ、参加者は興味深く見入っていました。

船橋大神宮（意富比神社）では、神社の歴史や建築様式について学びました。県有形文化財「灯明台」の沿革や常磐神社の御神体、そして社の千木や鰹木の意味、鳥居の種類や違いなど、普段は気に留めない細部に宿る意味を知ること、神社建築の奥深さを感じました。

歴史散策後は、中華料理店「東魁楼」に場所を移して懇親会を開催。

中華料理を囲み、歩きながら得た発見や河野さんの解説への感想を語り合うひとときとなりました。初参加の会員も打ち解け、より一層親睦を深めることができました。今回の史跡巡りを通じて、普段何気なく見ていた風景の中に、深い歴史や文化が息づいていることを実感し、新旧の会員が和やかに交流しながらの街中史跡巡りは、学びと発見に満ちた贅沢な時間となりました。

今後も、南部ブロックならではの視点で歴史や文化を楽しむ企画を準備中です。今回のようにゆったりとした雰囲気の中で、皆さまと一緒に新たな発見を分かち合えるのを楽しみにしています。